

4月議会(臨時会)  
6月議会(定例会)



# 市議会だより

IZUMO CITY COUNCIL PUBLIC RELATIONS MAGAZINE

平成29年(2017)8月18日 No.49 編集/議会広報誌編集委員会  
発行/出雲市議会



福代秀洋 議長



川上幸博 副議長

## 新体制スタート!!



総務委員会



文教厚生委員会



環境経済委員会



建設水道委員会

### CONTENTS

○正副議長あいさつ	2	○施政方針質問	8	○請願・意見書	25
○議会の新体制	3	○一般質問	11	○採決の結果	26
○議会の動き	4	○政務活動費について	21	○議会活動・編集後記	28
○委員会報告	5	○議員自己紹介	22		

# 新体制決まる

4月に臨時市議会を開催し、正副議長選挙の結果、議長に福代秀洋議員、副議長に川上幸博議員を選出したほか、出雲市監査委員に萬代輝正議員を選任することに同意しました。また、各常任委員会、議会運営委員会のメンバーが決まりました。

6月定例会市議会においては、予算特別委員会、議会改革・調査特別委員会ほか4つの特別委員会を設置し、委員を決定しました。

## ◎議長あいさつ



議長 福代 秀洋

平成29年4月27日に開催された出雲市議会臨時会におきまして、多くの議員の皆さまにご推挙いただき、議長の重責を努めさせていただきましたことになりました。身に余る光栄に存じますとともに、その責任の重さをひしひしと感じている次第であります。

今、地方分権改革の推進により、地方公共団体の自己決定・自己責任の範囲が拡大し、自治体間の競争・格差が激しくなるうとしています。住民

の代表で構成される議事機関としての議会は、今まで以上に責任ある活動が求められています。市長などの執行機関と対等な関係を構築し、議会自体の活性化を図る必要があります。また、議員は地域のみならず、さまざまな市政の課題を的確に把握し、わかりやすく市民に情報提供し市民の意向を把握した上で、市民全体の福祉の向上を目指し責任をもって活動する必要があります。

議員の皆さんと力を合わせて、より高い政策判断・立案能力と、充実した広報広聴機能を併せ持つ、全国に冠たる出雲市議会を目指したいと思えます。

## ◎副議長あいさつ



副議長 川上 幸博

このたびの、臨時議会におきまして、多くの議員の皆さまにご推挙いただき副議長を務めることになりました。議長を補佐し、出雲市の発展と共に議会の活性化を図り、信頼される議会になりますよう職責をまっとうしていきたいと考えています。

「議員の果たす役割とは何か」、今一度初心に戻り市民の皆さんに信頼される議会を目指し誠実に取り組んでまいります。少子高齢化が進む中、雇用促進・産業振興を推進し将来展望の持てる地域づくりと子どもたちが伸び伸びと健やかに育つ環境と安心して住める出雲市を目指し取り組んでまいります。

## 「広報広聴調査・推進委員会」が設置されました。

「市民に開かれた議会」の推進と議会の一層の機能強化を図ることを目的として、広報広聴調査・推進委員会が設置されました。

これに伴い、既存の「広報委員会」の名称を「議会広報誌編集委員会」に改めました。

### 広報広聴調査・推進委員会 委員名簿

委員長	湯浅 啓史				
副委員長	今岡 真治				
委員	玉木 満	後藤 由美	川光 秀昭		
	錦織 稔	大谷 良治	保科 孝充		
	飯塚 俊之				

# 常任委員会・議会運営委員会・特別委員会 委員名簿

◎…委員長 ○…副委員長

## 常任委員会

総務委員会  
(定数8名)

◎板倉 明弘 ○福島 孝雄 今岡 真治 後藤 由美  
本田 一勇 大谷 良治 板垣 成二 長廻 利行

文教厚生委員会  
(定数8名)

◎寺本 淳一 ○伊藤 繁満 玉木 満 山内 英司  
川光 秀昭 保科 孝充 板倉 一郎 勝部 順子

環境経済委員会  
(定数8名)

◎渡部 勝 ○湯浅 啓史 児玉 俊雄 錦織 稔  
岸 道三 神門 至 萬代 輝正 福代 秀洋

建設水道委員会  
(定数8名)

◎原 正雄 ○飯塚 俊之 西村 亮 大場 利信  
多々納剛人 川上 幸博 山代 裕始 宮本 享

平成29年(2017)4月28日から

議会運営委員会  
(定数9名)

◎飯塚 俊之 ○大場 利信 児玉 俊雄 岸 道三  
福島 孝雄 原 正雄 伊藤 繁満 板倉 明弘  
宮本 享

平成29年(2017)4月28日から

## 特別委員会

予算特別委員会  
(定数15名)

◎長廻 利行 ○岸 道三 山内 英司 川光 秀昭  
児玉 俊雄 錦織 稔 神門 至 寺本 淳一  
福島 孝雄 原 正雄 大場 利信 保科 孝充  
板垣 成二 萬代 輝正 板倉 明弘

平成29年(2017)5月30日から

議会改革・調査  
特別委員会(定数11名)

◎多々納剛人 ○板垣 成二 玉木 満 後藤 由美  
錦織 稔 岸 道三 湯浅 啓史 萬代 輝正  
板倉 一郎 板倉 明弘 長廻 利行

平成29年(2017)6月12日から

【付議事件】

出雲市議会の議会・議員活動、議員定数、議員報酬および政務活動費のあり方についての調査研究

総合交通対策  
特別委員会(定数8名)

◎板倉 一郎 ○大場 利信 錦織 稔 大谷 良治  
神門 至 渡部 勝 多々納剛人 川上 幸博

【付議事件】

出雲市の総合交通戦略の調査研究および高速交通網、バス、空港、一畑電車など出雲市の交通施設・手段に関する調査研究

観光・コンベンション  
調査特別委員会  
(定数8名)

◎萬代 輝正 ○板垣 成二 山内 英司 本田 一勇  
原 正雄 伊藤 繁満 勝部 順子 長廻 利行

【付議事件】

出雲市の観光・コンベンション施策に関する調査研究

原子力発電・エネルギー政策  
調査特別委員会  
(定数8名)

◎山代 裕始 ○西村 亮 玉木 満 後藤 由美  
川光 秀昭 寺本 淳一 飯塚 俊之 福代 秀洋

【付議事件】

島根原子力発電所にかかる諸問題の調査研究および出雲市の省エネルギー、新エネルギー、地球環境施策に関する調査研究

行財政改革  
特別委員会(定数8名)

◎宮本 享 ○保科 孝充 今岡 真治 児玉 俊雄  
岸 道三 湯浅 啓史 福島 孝雄 板倉 明弘

【付議事件】

出雲市行財政改革大綱および出雲市行財政改革第1期実施計画に基づく、行財政改革の進捗状況および計画見直しに関する調査研究

# 平成29年度 第1回出雲市議会（臨時会）報告

平成29年4月27日、28日に「出雲市議会（臨時会）」が開催され、議長、副議長の選挙を行ったほか「出雲市議会委員会条例の一部を改正する条例」など7議案を議決しました。

## 議会の動き

4月臨時会では、「議長選挙」および「副議長選挙」のほか、「出雲市議会委員会条例の一部を改正する条例」の条例案件1件、「出雲市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例」など専決処分についての承認案件3件、出雲市副市長の選任などの同意案件3件が上程され、すべての議案について、原案のとおり可決しました。

## 会期日程

**開会** 平成29年(2017)4月27日(木) **閉会** 平成29年(2017)4月28日(金)

会期2日間

4月27日(木) 本会議（開会、正副議長選挙、議案上程・説明、質疑、討論、採決）

4月28日(金) 本会議（議案上程・説明、委員会付託、質疑、討論、採決、閉会）、総務委員会、文教厚生委員会

# 平成29年度 第2回出雲市議会（定例会）報告

平成29年5月26日から6月定例会市議会が開催されました。  
平成29年度出雲市一般会計第1回補正予算など23議案を議決しました。

## 議会の動き

6月定例会では、「平成29年度（2017）出雲市一般会計第1回補正予算」など予算案件2件のほか、「出雲市税条例等の一部を改正する条例」など条例案件5件、「工事請負契約の締結について（高松コミュニティセンター建築工事）」など一般案件7件、「出雲市教育委員会委員の任命について」など人事案件6件などの議案が執行部から提案され、これらすべての議案について、同意または原案のとおり可決しました。

また、議員提出議案として「出雲市議会会議規則の一部を改正する規則」を提出し、原案のとおり可決したほか、意見書では、「地方財政の充実・強化を求める意見書」など2件を可決し、政府・関係機関に意見書を提出することとしました。

## 会期日程

**開会** 平成29年(2017)5月26日(金) **閉会** 平成29年(2017)6月26日(月)

会期32日間

5月26日(金) 本会議（開会、施政方針表明、議案上程・説明、採決）

5月30日(火) 本会議（施政方針質問、予算特別委員会

6月8日(木) 本会議（一般質問・1日目）

6月9日(金) 本会議（一般質問・2日目）

6月12日(月) 本会議（一般質問・3日目、追加議案上程・説明、議案質疑、委員会付託）

6月14日(水) 総務委員会

6月15日(木) 文教厚生委員会

6月16日(金) 環境経済委員会

6月19日(月) 建設水道委員会

6月20日(火) 予算特別委員会（1日目）

6月21日(水) 予算特別委員会（2日目）

6月26日(月) 本会議（委員長報告、質疑、討論、議案上程・説明、討論、議案質疑、採決、閉会）

# 常任委員会報告



「出雲市長等の給与の特例に関する条例」を可決すべきものと決定

総務委員会

総務委員会に審査の付託を受けた案件は、条例案件4件、一般案件2件、請願2件でした。審査の結果、請願第2号を除くすべての案件を可決・採択すべきものと決定しました。

「出雲市長等の給与の特例に関する条例」は、本市の財政状況を鑑み、平成33年3月まで市長などの給料月額を減額する条例を新たに制定するものです。

請願第2号は、北朝鮮問題について、軍事力による解決ではなく、外交交渉に徹し、平和的な手段による問題解決を要望する意見書の提出を求めるものです。平和的に解決することは共通の思いですが、国連安保理決議を厳格に守り、国際社会と連

携してその圧力を強めることが必要であること、また、請願書にある「安倍政権の政策は平和的な問題解決を敵視し、軍事的圧力と威嚇に血道をあげている」という現状認識には同意できないとの意見から賛成少数で不採択すべきものと決定しました。

その他、執行部から老朽化が進む大社消防署を大社支所庁舎部分に建築し、平成32年度に供用開始する予定との報告がありました。



改築が予定される大社消防署

「備品の取得について（出雲学校給食センター食器洗浄システム）」ほか2件の案件を可決すべきものと決定

文教厚生委員会

文教厚生委員会に付託を受けた案件は、一般案件3件でした。議第9号「備品の取得について」は、出雲学校給食センターの食器洗浄システムを購入することについて、議第11号「土地の取得について」は、檜山小学校・東小学校統合整備事業用地を取得することについて、議会の議決を求めるもので、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議第14号「修学旅行中の児童死亡事故に係る和解及び損害賠償額の決定について」は、遺族と和解し損害賠償額を定めることについて議会の議決を求めるもので、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

なお、審査の中で委員から、「事前に事故などの危険が発生する恐れのある情報があったにもかかわらずうまく運用できな

かった。」報告された情報を、その都度しっかりと吸い上げるシステムづくりが安全管理体制の強化につながる」との意見がありました。



食器洗浄システムを更新する出雲学校給食センター

「森林環境税（仮称）の早期創設の実現についての請願」を採択

環境経済委員会

環境経済委員会に審査の付託を受けた案件は2件でした。いずれの案件も賛成全員で可決および採択すべきものと決定しました。

請願第3号「森林環境税（仮称）の早期創設の実現についての請願」は、地方が行う森林整備の長期的、安定的な財源の確保のため、平成30年度税制改正において「森林環境税（仮称）」を創設し、その税収を民有林面積に応じて配分し、県および市町村が連携しながら、自由度をもった対策が実施できるように、国会や関係機関へ意見書を提出することを求めるものです。

議第6号「出雲市農林業関係事業分担金徴収条例の一部を改正する条例」は、国営緊急農地再編整備事業などについて、受益者から分担金を徴収するため所要の改正を行うものです。

また、その他事項では、「道の駅大社ご縁広場の新たな活用に関する事業者の募集」「日本遺産認定記念、夕日バスの運行」「次期可燃ごみ処理施設整備事業の進捗状況」などについての説明がありました。



民間での活用が期待される道の駅大社ご縁広場「吉兆館」

「市道路線の廃止・認定議案を可決すべきものと決定」

建設水道委員会

建設水道委員会に審査の付託を受けた案件は2件でした。

はじめに、議第12号「市道路線の廃止について」です。市道川跡84号線および市道川跡85号線は、県道出雲平田線川跡工区道路改良事業に伴い、起点を変更したうえで、再認定するため、一旦廃止するものです。

次に、議第13号「市道路線の認定について」です。市道川跡84号線および市道川跡85号線は、県道出雲平田線川跡工区道路改良事業に伴い、起点を変更したうえで、再認定するものです。また、市道斐川1148号線は、民間事業者の一部を払い下げることに伴い、終点を変更

して再認定するものです。これらの市道路線の廃止・認定にかかる議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。



再認定された市道川跡84号線

一般会計補正予算（第1回、第2回）を  
可決すべきものと決定

予算特別委員会

予算特別委員会に審査の付託を受けた案件は、一般会計の平成29年度の第1回補正予算と第2回補正予算の2件です。

6月20日と21日の2日間、補正予算の編成方針をはじめ各事業予算の詳細について質疑などを行い、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議第2号「平成29年度（2017）出雲市一般会計第1回補正予算」は、歳入歳出予算の総額を6億7千万円追加し、予算の総額を784億3千万円とするものです。

歳出の主なものとして、総務費では、出雲シティセールス事業、多文化共生推進事業、集落支援事業、コミュニティ活動促進事業などが計上されています。民生費および衛生費では、社会福祉法人による児童クラブ施設

設整備に対する補助や骨髄移植ドナーの支援経費などが計上されています。

農林水産業費では、産地パワーアップ事業、農道施設および林道施設の長寿命化対策事業などの追加が計上されています。

商工費では、日本遺産認定に伴う記念事業、外国人観光客誘客のためのインバウンド推進事業、地場企業・小規模企業への支援施策の追加などが計上されています。

土木費では、補助内示に伴う事業費の追加などが計上されています。

消防費では、大社消防署の建て替えに伴う経費の追加などが計上されています。

教育費では、就学援助事業の入学前支給実施に伴う経費や学校給食センター再編整備に伴う事業費の追加などが計上されて

います。

議第15号「平成29年度（2017）出雲市一般会計第2回補正予算」は、文化施設改修事業（出雲市民会館大ホール耐震補強工事）の継続費について、耐震構造基準の改正などにより、総額を3億1850万円から4億7410万円に変更するものです。

執行部に対し、委員会での指摘や意見を踏まえ、適切な予算執行にあたられるよう要望しました。



日が沈む聖地出雲（稲佐の浜）

請願・陳情のご案内

請願・陳情は、皆さまの意見・要望を市政に反映させる重要な制度です。この制度によりどなたでも、市議会に直接要望することができます。

請願は出雲市議会議員が1名以上紹介議員となる必要があります。陳情は紹介議員は必要ありません。請願と陳情の審査は、基本的に同じ取扱いとし、所管の常任委員会で審査した後に、本会議で結論を出します。（ただし、国などへ意見書を提出してほしい場合は、請願のみ受け付けることとしています。）定例会ごとに提出締切があります。詳細は議会事務局議事係（TEL21-6579）にお尋ねいただくか、市議会ホームページをご覧ください。

◆提出時に留意していただきたいこと

- 必ず日本語で、次の点を記載してください。（内容を表す件名、要旨、内容、提出年月日、代表の方の住所、氏名、押印、電話番号）
- 請願の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要です。
- 提出部数は、1部です。
- 請願や陳情の審議結果については、提出者にお知らせします。
- 提出された請願書・陳情書の内容、提出者（2人以上の場合は代表者）の氏名（名称）と住所（所在地）は、公表されますので、あらかじめご了承ください。

# 施政方針について 各会派代表が問う



6月定例会では、会派に所属する議員が市長の施政方針について代表質問を行いました。会派が選んだ項目（◎印のもの）について掲載しています。なお、原稿は質問をした会派が要旨をまとめたものです。

## 施政方針に対する会派代表質問 一覧

### 真誠クラブ 萬代輝正 議員

#### ◎所信について

- ・市政の基本方針
- ・雇用創出2,500人プロジェクト
- ・定住人口キープ17万人プロジェクト
- ・交流人口1,200万人プロジェクト
- ・住みやすさ No.1プロジェクト
- ・組織・機構の改革

### 平成クラブ 渡部 勝 議員

#### ・「所信」について

- ◎市政の基本方針について
- ・主要施策・主要事業について
- ・組織・機構の改革について

### 政雲クラブ 大場利信 議員

#### ・所信について

- ・雇用創出2,500人プロジェクトについて
- ◎定住人口キープ17万人プロジェクトについて
- ・交流人口1,200万人プロジェクトについて
- ・住みやすさ No.1プロジェクトについて

### 公明党 勝部順子 議員

- ・雇用創出2,500人プロジェクト
- ・定住人口キープ17万人プロジェクト
- ◎住みやすさ No.1プロジェクト

### 市民クラブ 岸 道三 議員

- ・所信
- ◎雇用創出2,500人プロジェクト
- ・定住人口キープ17万人プロジェクト
- ・交流人口1,200万人プロジェクト
- ・住みやすさ No.1プロジェクト
- ・平成29年度6月補正予算の概要

選挙戦では、市内全域にわたって回り、現在の出雲の姿をしっかりと見ることができました。その中で、地域の産業や伝統・文化を守り、地域のために一生懸命活動されている皆さまから、暖かいお声がけや叱咤激励をいただいたところです。市内をくまなく歩いたことで、その多様性に改めて気づかされました。北には半島部があり、斐伊川、神戸川が肥沃な平野をつくり、宍道湖や日本海に注ぎ、豊かな汽水域、豊かな海を育む一方、南には緑豊かな森林が広がり、地域ごとに特色あるさまざまな産業が形成されて

**問** 8年ぶりの選挙戦を終え、施政方針の所信で触れた「市民の皆さまから寄せられた期待」について、選挙後の感想と今後の4年間に向けての決意を伺います。

### 市長

選挙戦では、市内全域にわたって回り、現在の出雲の姿をしっかりと見ることができました。その中で、地域の産業や伝統・文化を守り、地域のために一生懸命活動されている皆さまから、暖かいお声がけや叱咤激励をいただいたところです。市内をくまなく歩いたことで、その多様性に改めて気づかされました。北には半島部があり、斐伊川、神戸川が肥沃な平野をつくり、宍道湖や日本海に注ぎ、豊かな汽水域、豊かな海を育む一方、南には緑豊かな森林が広がり、地域ごとに特色あるさまざまな産業が形成されて

おり、本市の潜在力の高さ、発展の可能性を改めて感じる事ができました。

今後も本市の持つ潜在能力を引き出す取り組みに邁進するとともに、さまざまな課題を抱える地域への対策も講じながら、若者が夢を描ける社会を目指すことはもとより、市内のどこに住んでいても安心して生き生きと暮らしていける社会の実現に向け、全力で取り組んでいきたいと考えています。



上空からみた出雲平野

## 選挙戦を終えて 所信を問う

真誠クラブ 萬代輝正



# 人口減少に対して どのような 対策をとるのか

平成クラブ 渡部 勝



## 問

平成27年度の国勢調査で出雲市は、県内唯一の人口増加を果たすことができました。このことは、大変喜ばしいことではありますが、一方で、中心部と周辺部では大きな格差が生じていることも現実です。言い換えれば出雲市には、光と影が存在しているということにもつながります。このことから人口減少が著しい周辺部に對し、どのような対策をとっていくのか伺います。

## 市長

対策としては、過疎債や辺地債を活用した道路などの地域インフラの整備、農業や林業など各種施策による支援策を活用しながら、コミュニティビジネスの取り組みを進められています。また、住宅の新築・リフォーム助成金の上乗せや三世代同居、あるいは、同地域近居の促進、空き家を活用した賃貸

住宅事業などにも取り組んでいくところとです。

今後人口減少地域の悩みにしっかりと目を向けて、その対策を講じるとともに、まち・ひと・しごと創生総合戦略を着実に実行し、子どもから高齢者まで住み続けたいと感じていただけるような地方創生に取り組んでいるところとです。



中山間地域で取り組まれている里山保全

# 個人が行うふるさと寄附に対する 総務省の指導についての 対応を伺う

政雲クラブ 大場 利信



## 問

個人が行うふるさと寄附額について返礼品の額を寄附額の3割とすること、パソコンなどの換金性の高いものは返礼品としないようにすることを内容とする総務省の指導がなされています。これについて、次の点を伺います。①出雲市は返礼品の割合を寄附額の5割相当としており、平成28年度で2億2800万円が地域の特産品購入などに充てられています。総務省の指導に従って返礼品の額を3割相当にすると購入額が約9100万円減少することとなり、地域経済に与える影響は少なくないと考えますが、市の見解を伺います。②返礼品として市の総合医療センターでの人間ドックと出雲の観光を組み合わせた旅行プランはユニークなものですが、これも見直されるかどうか伺います。

## 市長

①出雲市においても、ふるさと納税の額が伸びてきており、これからさらにという時に「出ばなをくじかれた」ような気持ちですが、総務省からの指導を無視するわけにもいかず、現在、具体的な商品について国の考えを確認しながら、商品の提供業者と協議を進めている最中です。②旅行宿泊券と同様なものとの指摘を受けていますが、市の考えや思いをしっかりと伝えながら、最終的には総務省の指導の中でこれからの方向を考えたいと思います。



総務省のふるさと納税のリーフレットと過度な返礼品の見直しを求める大臣通知

# 企業主導型保育事業の 推進で待機児童の 解消を

公明党 勝部 順子



## 問

待機児童の解消について、各保育所の協力を得て解消に努めるとされていますが、現状は保育士不足で厳しいと思います。今後も、企業誘致が進み待機児童は増えると考えます。国が進めている、企業主導型保育事業を推進することが、解消につながると思います。市の考えを伺います。

## 市長

①法人が行う施設整備、運営に対し補助を行うもので受け入れ枠の拡充につながると考えます。②本年4月時点で、2012人の入会者数です。高学年は、153人で23クラブが受け入れられています。指導者の人員確保が困難なことから、3年生までの受け入れを優先しているクラブもあります。

## 問

企業主導型保育事業の推進は、雇用政策の観点からも歓迎すべきことであり、課題となっている待機児童対策にも寄与すると考えています。企業にとっても、イメージアップや人材確保につながるという利点があります。市では、今後もそれぞれの企業からの相談対応や情報提供をしっかりと行っていく考えです。

①今議会に提案された、保育所を運営する社会福祉法人などによる運営制度につ



泥まみれで遊ぶ子どもたち

# 中小企業および 小規模企業の振興に 有効な支援策を

市民クラブ 岸 道三



## 問

「出雲市地場中小企業・小規模企業振興基本条例」が制定され、補正予算にも総合的な振興計画を策定するための振興会議の設置、特徴的なものづくり企業への人材・高度技術獲得に向けた支援などが盛り込まれています。

## 問

現段階、振興会議の委員構成には労働者の視点が含まれていません。中小企業などで働く労働者の代表を委員にすることについて考えを伺います。

## 市長

委員20人以内という枠の中で、さまざまな選択ができると思いますので、意見も踏まえたうえで、検討します。

## 市長

出雲市内の企業の特徴や現状の課題を把握したうえで、どのような支援策が有効であるかなどを検討し、独自性のある振興計画を立てなければならぬと考えています。振興計画策定にあたっての基本的な考え方に伺っています。

地場中小企業・小規模企業振興会議を設置したうえで、さまざまな委員の皆さまの立場から、経営環境や課題の検討、あるいは目指すべき方向性、有効な支援策などについて、意見を伺いながら、出雲ならではの



多くの中小企業が出店する出雲産業フェア

# 市政のここが聞きたい 一般質問

6月定例会市議会では18人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ(◎印のもの)掲載しています。なお、各項目は、一般質問通告一覧表に記載された項目です。

伊藤 繁満 議員 (12ページ)

◎各種選挙における投票率<sup>ちようらく</sup> 凋落 傾向の改善策について  
伺います

錦織 稔 議員 (12ページ)

◎新規高卒者への就職支援と市役所職員募集について  
・第3期出雲市教育振興計画について  
・バス交通の利便性向上について

西村 亮 議員 (13ページ)

◎地域振興策とコミュニティ活動について  
・少子化対策の拡充について

福島 孝雄 議員 (13ページ)

・「ひきこもり」の社会復帰支援について  
◎出雲市農林業の今後の動向について

大谷 良治 議員 (14ページ)

・高齢者虐待について  
◎地域包括ケアの実現にむけて  
・消防団支援・加入促進について

保科 孝充 議員 (14ページ)

◎国指定史跡荒神谷遺跡と史跡公園の整備状況を聞く  
・新川元滑走路に設置される太陽光発電施設とその関連  
について伺う

飯塚 俊之 議員 (15ページ)

◎出雲縁結び空港の機能強化と利用促進策について

後藤 由美 議員 (15ページ)

・市長の政治姿勢について  
◎子育て支援について  
・交通手段の確保について

寺本 淳一 議員 (16ページ)

・民生・児童委員活動支援について  
◎出雲市の認知症対策について  
・新教育長の思い

川光 秀昭 議員 (16ページ)

◎介護保険の運用について

原 正雄 議員 (17ページ)

◎十間川<sup>じっけんがわ</sup>・保知石川<sup>ほじしかわ</sup>の改修について  
・幼稚園の預かり保育の実態について

児玉 俊雄 議員 (17ページ)

・集落支援事業について  
◎高齢者外出支援事業及び福祉バス運行事業について  
・観光振興施策について

湯浅 啓史 議員 (18ページ)

・出雲市長選挙、出雲市議会議員選挙について  
◎雇用創出と人材不足について

玉木 満 議員 (18ページ)

◎消防団と地域防災のあり方について  
・平田スポーツ公園陸上競技場の公認更新について

神門 至 議員 (19ページ)

・旧斐川町との合併協定書における進捗状況について  
・出雲いりすの丘公園について  
◎横須賀市の“終活支援(サービス)”に対する市の考  
えは

山内 英司 議員 (19ページ)

◎乳幼児等医療費制度について

今岡 真治 議員 (20ページ)

◎人口減少、少子化、高齢化の対策について  
・外国人住民に対する対応について

板倉 一郎 議員 (20ページ)

◎児童クラブの充実について  
・新たな工業団地の開発について

# 投票率の凋落傾向に対する 改善策を早急に

ちようらく

**問** 先に行われた出雲市長選挙および市議会議員選挙の投票率は8年前に比較して約15%低く、4年前と比較して約5%低い結果となりました。投票率低下の原因は何か、また、どのように評価しているか伺います。また、投票所設置数が前回より大幅に減少し、交通手段を持たない高齢者は困っています。投票率向上に向けて早急に取り組むこととして何が必要で、何を取り組むのか具体策を伺います。

**総務部長** 有権者の政治に対する意識の多様化、あるいは身近な政治、行政への関与・関心度の低下により、人々の暮らしと政治との距離が少なからず開きつつあり、投票率が低下していると考えられます。選挙は議会制民主主義の根幹にかかわることであり投票率低迷は、憂慮すべきことと認識しています。投票率が1%でも上がるように期



伊藤 繁 満

日前投票所を大型店で行うこと、高齢者の投票を促すこと、主権者教育の取り組みなどを考えています。



有権者の貴重な一票が明日の出雲を創ります

# 新規高校卒業者への就職支援と 市役所職員の募集

**問** 市内に就職したいと希望される高校生の皆さまに、どのような支援を実施されているか伺います。

**市長** 市内213社の会員で出雲地区雇用促進協議会を組織しており、島根県やハローワーク出雲などと連携し、企業の説明会を行っています。

**問** 過去の市職員募集の要項を見ますと、新規高卒者の採用は消防吏員だけとなっています。一般職にも新規高卒者の採用の考えはないか伺います。

**市長** 今年9月に予定している採用試験において、消防吏員だけでなく、行政職および土木技師について、高校卒業程度試験の実施を予定しています。

**問** 市職員募集の情報がすぐわかるように、ホームページに

「採用情報」を開設する考えはないか伺います。

**市長** 出雲市の将来を担う意欲のある優秀な人材を広く求めるうえで有効な方法と考えますので、できるだけ早く実現する方向で検討します。



「市職員募集」出雲市ホームページより



錦 織 稔

# 地域振興策とコミュニティ活動 について伺う

**問** 道路の除草作業助成について伺います。出雲市では、これまで1㎡あたり5円の助成があります。島根県の除草作業の助成と比較すると3分の1であり少額です。燃料やチップソーなどの消耗品もあり、これらを差し引くとさらに少額になります。出雲市では、助成制度を10年以上据え置いたままです。今後前向きに検討され、助成の拡充を期待しますが、見解を伺います。

**市長** 地域の多くの皆さまのボランティア活動によって支えられ、路肩や法面の除草活動を実施していただいているところであります。地域の皆さま方の活動に深く感謝します。指摘いただいたように、本市の除草活動に対する助成金は、県の3分の1であり、市と県で大きな差があります。この制度を創設して以来、10年以上経過したこの時点で道



西村 亮

路の維持管理を取り巻く社会環境や地域状況も大きく変化しており、今後、助成内容の見直しを検討します。



道路路肩の除草活動のようす

# 取り組みやすい農林業施策を望む

**問** 国の施策によって振り回される農林業ですが、①平成30年からの米生産について、県農業再生協議会と各地域再生協議会との関係②食品安全に関する農業生産工程管理「GAP」の取り組み③森林・山村多面的機能発揮対策事業の取り組みについて伺います。

**農林水産部長** ①基本的には、これまでと同じ手法により各地域再生協議会が主体となって生産調整を行います。12月頃に県再生協議会から地域再生協議会に生産目安を提示します。②出雲市はJGAP・美味しまね認証を推進し、認証にかかる費用については、国の支援事業を活用することで生産者の負担を軽減します。今後JAと連携しながら生産者部会などの単位で促進を図ります。③申請団体は、継続が5団体(前年度15団体)、新規が2団体で今後2次募集を行います。今年度からモニタリング調査が追加され作業量が増

えるために行政としても現地説明会などでフォローし、里山を守る取り組みを行います。



森林・山村多面的機能発揮対策事業で行われた里山整備



福島 孝雄

## 高齢者が安心して暮らせる 包括ケアシステムの推進を

**問** 一人暮らしの高齢者や認知症の在宅高齢者の増加、複雑な介護ニーズの増加を背景に、在宅医療・介護をはじめとした地域包括ケアシステムの実現に向けた、本市の現在の取り組みと今後の方向性について伺います。

**健康福祉部長** 在宅医療推進のための事例検討会や、医療・介護関係団体が行う研修会、講演会への支援の取り組みを積極的に行っています。今年度には、在宅医療・介護関係者向けの相談窓口を設置します。また、介護予防事業などは介護予防・日常生活支援総合事業に再編をし、住民主体の集いの場へリハビリテーションなどの専門職を派遣するなど、介護予防の強化を図ります。

今後の課題は、在宅医療・介護をはじめとした地域包括ケアシステムについて、市民の理解を一層深め各地域の課題を明らかにし、サービスの提供体制や地域づくりに向けた政策形成が重要と考えます。



大谷 良治



## 荒神谷遺跡と史跡公園の整備状況を伺う

**問** 国宝出土30周年が経過した荒神谷遺跡は銅剣などの紛失、劣化が進み整備計画が進められています。今後の予定を伺います。

**市民文化部長** 今は機器により環境観測データの分析をしています。今年2月に文化庁、県の同席を得て第2回検討委員会を開催しました。平成30年度に整備改修の基本計画を策定、その後改修に着手します。

**問** 史跡公園の遊具、椿の森の劣化が進んでいます。入園者は幼稚園児が平成22年3000人から平成28年4000人となり、小学生は平成22年2000人が平成28年900人と、大きく減っています。

子どもたちを引率する先生があらかじめ調査をし、危険な遊具の状況を見て野外研修をしなくなったという声を聞いています。



近く撤去される大型遊具

す。国宝出土地に隣接した公園であり、早期に整備が必要と考えますが見解を伺います。

**市民文化部長** まず、遊具を早期に撤去して、散策がきちんとできるような通路を確保することが必要と考えています。



保科 孝充

## 地元の安全対策を万全にし 出雲縁結び空港の運用時間延長へ

**問** 出雲縁結び空港は、昨年度利用者が89万人を超え過去最高を記録しました。今後も利用者の増加が見込めるといふ予測がある中で、さらに利便性を向上させていく必要があります。特に、他の地方空港と比べ運用時間が短いことが、機材の大型化や増便、国際線誘致などの実現を困難にしている主要因であると考えます。周辺への安全確保を万全にし、運用時間の延長へ取り組みむべきと考えますが見解を伺います。

**市長** 空港立地自治体としては、まずは周辺住民の生活環境の維持と安全な生活の確保が第一だと考えています。しかし一方では、今後の本市および圏域の発展を支える社会基盤であることを踏まえると、運用時間の延長については、空港管理者である島根県を主体とし、安全性の向上のためにさまざまな手立



飯塚 俊之

てを打った上で、地元住民の理解を求めていくしかないと考えています。



出雲縁結び空港

## 子どもの医療費中学卒業まで無料 保育園待機児童解消 今すぐ決断を

**問** 出雲市の子どもの医療費助成は、県内で最も遅れていると感じています。松江市は小学校卒業まで、安来・雲南・大田市など6割の自治体では中学校卒業まで無料です。保育園待機児童問題も深刻です。4月1日現在で待機児童は78人、また、入所を申し込みながら入れなかった「入所未決定者」は298人です。認可保育所の増設が必要です。この2つの問題を解決してこそ「安心して子育てできる出雲」になりますが、見解を伺います。

た。市としては国や県の制度を活用し、保育士の処遇改善を支援していく考えです。

**子ども未来部長** 子どもの医療費を中学卒業まで拡大した場合、毎年約4億円の新たな財政負担が生じます。現時点における本市の状況からはさらなる対象年齢の引き上げは難しいと考えています。待機児童対策では、本年度は保育士確保が困難で多くの待機児童が発生しまし



安心して子育てできる環境を



後藤 由美

# 出雲市の認知症対策を伺う

**問** 2025年には認知症の高齢者が700万人を超えると予想され、認知症対策の充実を図ることは喫緊の課題です。そこで伺います。①出雲市で認知症と診断されている人数と若年性認知症の人数。②現在の医療・介護の連携体制はどのようなになっていますか。

**健康福祉部長** ①認知症の症状がみられる方の人数は6900人。若年性認知症の診断がある方は20人です。②昨年度から認知症初期集中支援チームを設置し、早期発見・早期対応を行っています。また、平成27年度から出雲医師会に認知症の専門医で構成する認知症サポート医会が発足し、かかりつけ医や介護職員を対象とした研修会を定期的に行っています。研修会が開催されることで、認知症ケアの向上と連携が図られるようになってきていると考えています。



寺本 淳一



認知症支援に役立つ「認知症ケアパス」

# 高齢者の介護保険料減額の可能性について問う

**問** 年金の支給額は年々抑制されていますが、介護保険料は増加傾向にあります。このまま推移すると運用が出来なくなる事態が想定されても不思議ではありません。介護保険料が増加する要因について伺います。

**健康福祉部長** 高齢者人口の増加に伴い要介護認定者の人数が増加したこと、介護保険制度が広く認識され介護サービスの利用が伸び続けていることが挙げられます。

**問** 新たに始まった、総合事業や地域包括ケアシステムが機能することで要介護認定者の削減や介護保険料の減額は可能か伺います。

**健康福祉部長** 現状の「お世話型」ケアプランを、多職種が連携する地域ケア会議により「自立型」ケアプランに転換してい

く必要があります。介護度の改善や介護サービスを必要としない高齢者の増加に繋がれば、介護保険料の上昇を抑制できると考えています。



川光 秀昭

# 十間川・保知石川の 改修について伺う

**問** 十間川・保知石川の改修の見通しについて伺います。

**都市建設部長** 十間川改修は、

差海川河口から知井宮町のJR山陰本線の橋りょうまでが計画区間です。このうち、神西湖上流の十間川で掘削および吉祥寺橋の架け替え、小浜の取水堰が完成し、県道多伎江南出雲線の持田橋および終点のJR橋の改修などが実施されます。JR橋から上流は、改修計画が未策定で本年度から計画策定に向け検討されると聞いています。早期に河川整備計画が実施されますよう知事に要望いたします。次に保知石川は、出雲西高等学校付近を起点とし、神西沖町の佐伯橋付近で十間川に合流し、神西湖に流れています。現在改修計画はないため、改修の見通しは立っていません。河床掘削や護岸修繕など必要に応じて実施されています。県道との交差す



原 正 雄

る箇所において、通水機能の強化に着手されます。改修の必要性は、認識していただきますので県に要望します。



JR山陰本線上流側からみた十間川

# 高齢者などの交通手段確保対策の 今後の方向性を問う

**問** 交通手段の確保対策として、佐田・多伎・斐川地域では高齢者外出支援事業が、出雲・湖陵地域では福祉バス運行事業が実施されていますが、地域ごとに制度が異なり、それぞれに課題を抱えているように思います。全国的にも条件不利地域での交通システムの構築は大きな課題になっていることから、本市の最重要課題として位置づけて、全国に情報発信できるシステムが構築できないものでしょうか。市の考えを伺います。

**総合政策部長** 質問のあった事業を実施している5地域は合併前の制度を基本的に引き継ぎ、それぞれ異なった形態で事業を続けています。各地域には病院、買い物施設などの立地環境、住民ニーズ、公共交通の状況など異なる背景があることから、今後、それぞれの地域特性を踏まえたうえで、サービス水準の平

準化を含め、より良いシステムの構築を考えていきます。



出雲市福祉バス南部線「宇那手線」



児 玉 俊 雄

# 若者の流出を食い止め 人材不足を解消する施策は何か

**問** 地場の中小企業、小規模企業や一次産業を中心とした分野では、深刻な人材不足や後継者不足に陥<sup>おとぼ</sup>っている現状があります。高校卒業時に就職や進学で市外へ流出する若者は毎年1000人を超えています。人口減少を食い止める意味でも、人材不足を解消する意味でも、いったん市外へ流失した若者を呼び戻す人材確保策が必要です。どのような取り組みが行われているか伺います。

**経済環境部長** 出雲地区雇用推進協議会やハローワーク出雲などと連携し、就職フェアしまね in 出雲や出雲地区合同企業説明会の開催など多角的に取り組んでいます。また、本年4月からU・Iターン就職支援窓口を縁結び定住課に設置したほか、ふるさと島根定住財団と連携し、しまねUターンフェアや相談会に市も積極的に参加し、

人材確保策を進めています。



湯 浅 啓 史



毎年開催される「就職フェアしまね in 出雲」の様子

# 地域の防災を担う消防団活動の 理解向上策を

**問** 地域における防災力の主軸として、消防団は不可欠な存在ですが、被雇用者率の上昇、就業形態の複雑化により防災力の低下が懸念されます。心安らく状態で仕事ができるよう、事業所の理解を得る活動を行っていますか。また、消防協力組織で防災力を補う考えはありませんか。見解を伺います。

**消防長** 入団時や消防操法訓練の折りに協力依頼を行っています。ですが、今後も積極的に理解を得る活動を行います。現状では防災力低下の認識はなく、直ちに消防協力組織の機能強化や活動の幅を広げる計画はありません。

**問** 人口減少だけでなく、消防団活動への理解度が十分でないことも、団員確保が困難な理由と考えます。どのような施策を行っているのか伺います。

**消防長** 負担軽減のため、分团长以上の方を対象に携帯電話の使用料の交付を行っています。消防団員さんさんクラブへの加入促進を行い、家族に対しても特典が拡充されるよう図ります。



競技会でホースを軽やかに操る消防団員



玉 木 満

# 横須賀市などの終活支援サービスを見習うべき

**問** 昨今、お墓をあらかじめ用意しても入れないという「墓ラブル」が全国で相次いでいます。お墓を販売する会社が倒産し、お金を支払ったのにお墓が建たないケースや、生前にお墓を準備しておいても、孤立した高齢者が多く、お墓の存在を本人以外が知らないため、結局は無縁墓地に葬られてしまうケースもあることから、自治体自ら終活支援サービスに取り組み自治体が増えています。市の考えをお伺いします。

**健康福祉部長** 本市では、ご指摘のような墓ラブルはありません。市の取り組みとしては、平成27年12月から低所得者向けに、簡素で低廉な葬儀を行えるよう、市内全ての葬祭業者と「いずも思いやり葬儀に関する協定」を締結をしています。この「いずも思いやり葬儀」は、通夜・告別式などは行わず、病



神門 至

院や自宅などから直接火葬場へ遺体運び火葬を行うものです。今後、お困りごとがあれば、福祉推進課あるいは高齢者福祉課、各支所などにご相談いただきたいと考えます。



いずも思いやり葬儀チラシ

# 乳幼児等医療費助成制度の拡充を望む

**問** 小中学校の医療費無料化について、国が取り組むべきことだとお考えですか、市が取り組むべきことだとお考えですか、市の見解をお伺いします。

**子ども未来部長** 乳幼児医療費助成制度の対象を小中学生まで引き上げる場合、国、県の助成支援がないため、これに伴う医療費増額は、ほぼ市の一般財源で賄うこととなります。全国の自治体では、人口減少対策の一つとして乳幼児などの医療費支援を行っている場合が多く、県内の各市町村においてもその支援内容はさまざまです。幸いにして本市においては、人口が増加傾向にあり、住みやすい街であると総合的に評価された結果であると考えています。子どもの医療費負担については、本来、住む地域によって異なるということは望ましい姿ではなく、国全体の子育て支援策とし

て取り組むべきものと考えています。

<県>

島根県	乳幼児医療（0歳～就学前）	
	入院	外来
	上限2,000円	上限1,000円

<県内8市>

市名	乳幼児医療 入院・外来共通	こども医療（乳幼児医療拡大部分）	
		入院	外来
松江市	無料	無料（小学1年生～6年生）	
浜田市	県制度に準じる	上限2,000円 （小学1年生～中学3年生）	上限1,000円 （小学1年生～中学3年生）
出雲市	無料		
益田市	県制度に準じる	上限2,000円 （小学1年生～中学3年生）	上限1,000円 （小学1年生～中学3年生）
大田市	無料	無料（小学1年生～中学3年生）	
安来市	無料	無料（小学1年生～中学3年生）	
江津市	無料	無料（小学1年生～中学3年生）	
雲南市	無料	無料（小学1年生～中学3年生）	

県および8市の医療費助成の自己負担限度額



山内 英司

# 人口減少・少子化・高齢化に対し きめ細かな対策を

**問** 出雲市においては、市街地と周辺地域で人口減少・少子化・高齢化の状況が大きく異なるなか、その諸問題を抱える各地域に対して、行政として、いかに人口減少対策に取り組み、地域づくりを進めているのかを伺います。

**総合政策部長** 今議会においては中山間地域の取り組みを支援するため、「うみ・やま（中山間地域）応援センター」の設置や自治協会などが取り組む活動を後押しするための「元気！やる気！地域応援補助制度」の新設の提案をしています。

また、U・イターン促進策として、過疎・辺り地域などを重点支援地域とした住宅の新築・リフォーム助成金の上乘せや、空き家活用の賃貸住宅事業にも取り組んでいます。

今後も人口減少地域はもとより、本市に住む誰もが住み続け



今岡 真治

たいと感じていただけるように、定任対策などに取り組む考えです。



自治振興課内に設置された「うみ・やま（中山間地域）応援センター」

# 児童クラブの充実および支援員の処遇改善を

**問** 児童クラブの現状および今後の見込みについて伺います。

**子ども未来部長** 入会児童数は、増加傾向にあります。多くのクラブで、3年生までを優先的に受け入れており、共働き家庭の増加や対象学年の拡大により、今後も増加すると見込んでいます。

**問** 支援員の確保が問題になっており、支援員の処遇の改善は、大きな課題です。処遇の現状、また、各児童クラブで処遇がまちまちであり、市で一括管理し処遇の改善を図るべきと考えますが、市の考えを伺います。

**子ども未来部長** 基本給を時給に換算し、最高と最低の差額は、主任支援員で、592円です。全体の44クラブ中、月給制が13クラブ、日給制7クラブ、時給制が24クラブで、単価がま

ちまちであるという実態があります。今後、出雲市全体で支援員の募集と処遇の改善を考えています。



板倉 一郎

## 政務活動費の公開について

### 平成28年度政務活動費の執行状況

#### ○政務活動費とは

出雲市では、市議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、政務活動費を交付しています。

#### ○交付対象と交付額

出雲市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、各会派および会派に所属しない議員に対して交付されます。

交付額は、一人当たり年額45万円です。

### 平成28年度 政務活動費収支報告（会派・議員別）

【単位：円】

会 派	真誠クラブ	政雲クラブ	平成・大社 クラブ	市民の会	公明党	日本共産党	会 派 に 属 さ ない 議 員	合 計
							板倉一郎議員	
議員数	8人	6人	6人	5人	2人	2人	1人	30人
交付額	3,600,000	2,700,000	2,700,000	2,250,000	900,000	900,000	450,000	13,500,000
雑収入（利息）	17	9	3	4	7	0	7	47
調査研究費	1,597,473	1,803,133	1,538,186	166,784	406,277	0	214,150	5,726,003
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0
広報費	455,631	453,277	809,318	1,170,070	184,770	392,990	0	3,466,056
広聴費	0	0	0	0	0	614,668	0	614,668
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	10,800	0	0	0	0	0	10,800
資料作成費	63,041	18,710	87,364	29,814	34,772	0	1,829	235,530
資料購入費	44,744	359,772	255,357	467,241	141,876	0	72,360	1,341,350
人件費	0	0	0	60,000	0	0	0	60,000
事務所費	0	0	12,000	0	0	0	14,168	26,168
支出合計	2,160,889	2,645,692	2,702,225	1,893,909	767,695	1,007,658	302,507	11,480,575
政務活動費返還額	1,439,111	54,308	0	356,091	132,305	0	147,493	2,129,308
利子返還額	17	9	3	4	7	0	7	47

# 議員自己紹介

出雲市議会は、新たな構成メンバーとなりました。  
今号と次号にわけて議員紹介を掲載します。

◇掲載項目◇ 議席番号、氏名（ふりがな）、住所、期数、会派名、抱負



**1**  
**今岡 真治**  
(いまおか しんじ)  
出雲市西神西町 1期  
真誠クラブ

本格的な人口減少化社会の到来により、地域社会は活力を失い、財政は厳しくなりがちです。しかし、市民サービスのニーズは多様化しており、自治体では市民の要望に的確に対応し、なおかつ健全な財政運営が求められています。

市議会議員として、市民の声・地域の声を市政に届け、人口減少による地域社会の衰退にどう取り組むか、皆さまと共に考え、皆さまと共に行動し、出雲市の豊かな未来の構築に向けて懸命に努力してまいります。



**2**  
**玉木 満**  
(たまき みつる)  
出雲市灘分町 1期  
平成クラブ

◎子どもが子どもらしく生活できる環境を。子どもの元気と笑顔あふれる、活気に満ちた出雲市を目指します。

◎消防士、救急救命士として培った経験を。大規模災害に備え、病院前医療および受援・支援体制の向上を図ります。

◎将来を見据えた地域文化や産業の振興を。多文化学習、国際交流の推進。食育を通じた意識改革に努めます。

皆さまざまのご意見を、玉木 満にお聞かせください。



**3**  
**山内 英司**  
(やまうち えいじ)  
出雲市今市町 1期  
会派に属さない

出雲市の税金の使い道に疑問を、市の将来像に不安を抱いています。果たしてこのままでいいのか？みんなで納めた税金、使い道を決める人にちゃんとやって欲しいと思っています。

みんなが子どもたちのために仕事をすれば、みんなその仕事に誇りを持つことができ、明るい未来に一步近づけると思っています。

税金を、まずは未来ある子どもたちから。まずは2,009人の代表として自分らしく前進いたします。期待を裏切ぬよう精進します。



**4**  
**後藤 由美**  
(ごとう ゆみ)  
出雲市稗原町 1期  
会派に属さない

子どもから高齢者の方まで皆さんが暮らしやすい出雲市になるよう、皆さんの声に耳を傾け、願いを実現したいです。特に市民の皆さんと力をあわせ、子どもの医療費を中学校卒業まで無料にするため頑張ります。障がい児の施設や保育園で働いてきた私の目標は「弱い立場の方々が置き去りにされないあたたかい社会」です。市民の命と暮らしを守ることを最優先にし、中山間地域にも政治の光がしっかり届くようにしていきます。



**5**  
**川光 秀昭**  
(かわみつ ひであき)  
出雲市大社町修理免 1期  
政雲クラブ

神戸からUターンしてきました。皆さまの声に耳を傾け、新たな視線で市民の皆さまが抱える問題を掘り起こし、出雲市の発展に尽くしていきたいと思っております。

出雲市の中でも地域によって、さまざまなニーズがあります。地域の特色に合致した最適な方法を検討し、それに合わせて政策を実施していかなければならないとも考えています。

日本全体で少子高齢化が叫ばれており、出雲市も例外ではありません。子どもから高齢者まで、安心して暮らせる街づくりを目指します。



**6**  
**児玉 俊雄**  
(こだま としお)  
出雲市稗原町 1期  
真誠クラブ

出雲市は2度の合併により、名実ともに山陰の中核都市のひとつとなりました。

しかし一方では、少子高齢化、市財政の悪化などに起因するさまざまな問題が山積し、将来への不安も募っています。

出雲市の未来が希望にあふれ、その活力がしっかりと感じられるまちになるよう、皆さまの出雲市への思い、地域への思いを自らの力として全力で頑張ります。



**7**  
**錦織 稔**  
(にしこおりみのる)  
出雲市松寄下町 1期  
公明党

現場第一主義をモットーに皆さまお一人お一人の声を市政に届けてまいります。皆さまが、心豊かに希望あふれる日々が送れますよう全力で取り組んでまいります。多世代の人々と交流しながら安心して子育てし、健康で活動的な生活を送り、安心して医療・介護を受け、自己実現できる社会を目指します。豊かな自然を生かした魅力に溢れる出雲市にしていきたいと思います。



**8**  
**本田 一勇**  
(ほんだ かずお)  
出雲市多伎町多伎 1期  
政雲クラブ

出雲市や鳥根県が明るい話題の全国ベスト10に入るように努力します。例えば、落し物返却率No.1. 中心街ゴミ無し率No.1. 知らない人に挨拶率No.1. 1日当たりの笑顔率No.1. 災害ボランティア率No.1. 前向き思考率No.1. 「大丈夫」と口癖率No.1. 今、夢がある率No.1. !! 私もアップさせます。



**9**  
**大谷 良治**  
(おおたに りょうじ)  
出雲市平田町 2期  
市民クラブ

「市民が主役のまちづくり」

対話・交流を大切に皆さまの声を良く聞き、広い視野で物事をとらえ、共に汗をかいてまいります。

限られた財源で、時代の要請に即応、実現するには、行政資源を効果的に投入するとともに、公助・共助・自助の役割分担が必要です。私は、次世代に高負担を強いる事のないよう「次代に備えるため」を価値判断の中心に捉え、市民の皆さんと意識を共有できるよう行動してまいります。



**10**  
**岸 道三**  
(きし みちぞう)  
出雲市芦渡町 2期  
市民クラブ

人口減少や少子高齢化が本格的に到来しています。めまぐるしく社会が変化するなか、市民ニーズも多様化しています。議員の一人として説明責任をしっかりと果たし、市政の発展に有効な政策の実現に努めます。

市民の皆さんとともに、出雲の地に愛着と誇りをもち、ゆとり・豊かさを実感できる地域を創るために行動します。



**11**  
**湯浅 啓史**  
(ゆあさ けいじ)  
出雲市今市町 2期  
政雲クラブ

今後確実に人口減少社会が訪れ、人口や財政規模が縮小に転じます。明治期以降、右肩上がりに拡大を続けてきた成長モデルから一転、右肩下がりに縮小していく社会に、いかに対応していくか、また、その将来像を示す事ができるかが、地方都市の課題です。「コンパクトなまち」の具体像を築くための基礎となる4年と信じ、不撓の努力を続けて参ります。



**12**  
**神門 至**  
(ごうど いたる)  
出雲市斐川町神氷 2期  
会派に属さない

私は、地域産業の再建による雇用創出を第一義に、「人を大切にし、地域の特性を活かし、一生懸命な人が報われる社会」を目指し、多くの市民の皆さまの声を反映できる議会活動に努め、市民の皆さまが、「郷土への愛着や誇り・未来へ希望の持てる出雲市」を創造しつつ、企業や農林水産業などの豊富な資源を世界に発信できる出雲市を推進していく決意であります。



**13**  
**寺本 淳一**  
(てらもと じゅんいち)  
出雲市松寄下町 2期  
真誠クラブ

出雲市の将来を見据えたとき、これからの大きな課題は人口減少問題です。福祉・環境整備、教育・文化向上や若者の定住、U・Iターン者の支援を強化していかなければなりません。10年後の出雲市をどのようなまちにしていくのか、今ある出雲市の産業や自然、歴史、文化という財産を活かし、暮らしやすいまちづくりを地域の皆さんと共に考え、実現に向けて議員としての役割をしっかりと果たしていきます。



**14**  
**渡部 勝**  
(わたなべ まさる)  
出雲市佐田町大呂 2期 (旧佐田町議4期)  
平成クラブ

出雲市の財政が極端に悪化したのが平成23年。その後行財政改革に取り組みや改善をしたものの、依然厳しいことには変わりはありません。今後は引き続き財政健全化につとめつつ、少子化対策、地域活性化など元気な出雲市になるよう頑張っていきます。



**15**  
**福島 孝雄**  
(ふくしま たかお)  
出雲市斐川町神庭 2期  
公明党

1期4年の経験をもとに、2期日もさまざまな課題に取り組んでまいります。市民の皆さまの「身近な議員」として、安心・安全な街づくり、地域の諸問題や福祉の充実、農業の発展、中山間地域の諸問題などについても引き続き取り組んでまいります。市民相談の対応や議会報告会の開催などを積極的にここない、議員の責任・役割を果たしながら、出雲市の発展のために、頑張ります。



**16**  
**原 正雄**  
(はら まさお)  
出雲市神門町 2期  
平成クラブ

「安らぎと活力に満ちた郷土づくり」のスローガンのもと、皆さまのご支援により市議会議員選挙に当選させて頂き2期目を迎えることになりました。  
・幼児教育、学童保育の充実  
・安心安全な地域づくりのための防災および交通対策  
・高齢者幼児など社会的弱者対策の強化  
など、課題解決のため、硬直化した財政運営に対し楔(くさび)を打ち込むことも必要です。全力で取り組みます。

## 請願・意見書の審議結果

### 【請願】

番号	件名	提出者	審議結果
1	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願	出雲市今市町 全日本自治団体労働組合 島根県本部 出雲市職員連合労働組合 執行委員長 坂根 孝昭	<b>採 択</b> に 全員賛成
2	北朝鮮問題をめぐる国際的緊張の高まりを 平和的に解決することを求める請願	松江市西持田町 安保関連法（戦争法）の廃止を求め るしまね総がかり行動実行委員会 井上 寛司	<b>不採 択</b> に 賛成多数
	<b>なぜ不採択</b>	北朝鮮問題をめぐる国際的な緊張の高まりを平和的に解決することは共通の思いであるが、北朝鮮の一方的な挑発が繰り返されている状況において、国際連合安全保障理事会決議を厳格に守り、挑発行動を行わないように強く求め、国際社会と連携してその圧力を強めることが必要であるため。 請願書にある「米国が軍事的圧力をかけたから北朝鮮が核・ミサイル開発を進めた」あるいは「安倍政権の政策は平和的な問題解決を敵視し、米軍との共同演習などによる軍事的圧力と威嚇に血道をあげている」という現状認識には同意できないため。	
3	森林環境税（仮称）の早期創設の実現についての請願	出雲市塩冶町 出雲地区森林組合 代表理事長 手銭 白三郎 他3名	<b>採 択</b> に 賛成多数

### 【意見書】

番号	件名	審議結果
1	地方財政の充実・強化を求める意見書	全員賛成により <b>原案可決</b>
2	森林環境税（仮称）の早期創設と地方が行う森林整備対策の長期的・安定的な財源確保を求める意見書	賛成多数により <b>原案可決</b>

### 議会傍聴に いらしていただけますか

出雲市議会では、本会議および委員会は、原則公開しています。（ただし、議長および委員長の判断により非公開とする場合があります。）

当日、議場（委員会室）前の傍聴受付で、傍聴受付簿に住所、氏名を書いていただくだけで傍聴できますので、お気軽にお出かけください。

傍聴席は、議場60席、委員会室10席程度あります。事前の連絡は必要ありませんが、団体での傍聴を希望される場合には、出雲市議会事務局まであらかじめご相談ください。

### 託児サービスをご利用ください

本会議・委員会を傍聴される間、お子さまをお預かりする託児サービスをしています。

託児を希望される場合は、原則として希望日の1週間前までに申込みが必要です。

詳しくは議会事務局へおたずねいただくか、市議会のホームページをご覧ください。





平成 29 年度  
第 1 回出雲市議会(臨時会)

# 採 決 結 果

番 号	議 案 名	採決結果	賛成	反対
議第 1 号	出雲市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	30	0
同第 1 号	出雲市副市長の選任について(伊藤 功 氏)	同 意	30	0
同第 2 号	出雲市教育委員会教育長の任命について(榎野 信幸 氏)	同 意	30	0
同第 3 号	出雲市監査委員の選任について(萬代 輝正 氏)	同 意	30	0
承第 1 号	専決処分の承認について(出雲市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例)	承 認	29	1
承第 2 号	専決処分の承認について(出雲市立保育所設置条例の一部を改正する条例)	承 認	30	0
承第 3 号	専決処分の承認について(出雲市立幼稚園条例の一部を改正する条例)	承 認	30	0

平成 29 年度  
第 2 回出雲市議会(定例会)

# 採 決 結 果

番 号	議 案 名	採決結果	賛成	反対
同第 4 号	出雲市教育委員会委員の任命について(水 陽子 氏)	同 意	31	0
同第 5 号	出雲市固定資産評価審査委員会委員の選任について(森脇 慶昌 氏)	同 意	31	0
同第 6 号	出雲市固定資産評価審査委員会委員の選任について(常松 耕治 氏)	同 意	31	0
同第 7 号	出雲市固定資産評価審査委員会委員の選任について(原 信次 氏)	同 意	31	0
同第 8 号	出雲市公平委員会委員の選任について(米山 勉 氏)	同 意	31	0
同第 9 号	出雲市監査委員の選任について(周藤 滋 氏)	同 意	31	0
議第 2 号	平成29年度(2017)出雲市一般会計第 1 回補正予算	原案可決	31	0
議第 3 号	出雲市税条例等の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 4 号	出雲市都市計画税条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第 5 号	地域の振興を促進するための固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第 6 号	出雲市農林業関係事業分担金徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第 7 号	出雲市長等の給与の特例に関する条例	原案可決	31	0
議第 8 号	工事請負契約の締結について(高松コミュニティセンター建築工事)	原案可決	30	0
議第 9 号	備品の取得について(出雲学校給食センター食器洗浄システム)	原案可決	31	0
議第 10 号	備品の取得について(救助工作車(Ⅲ型))	原案可決	31	0
議第 11 号	土地の取得について(檜山小学校・東小学校統合整備事業用地)	原案可決	31	0
議第 12 号	市道路線の廃止について	原案可決	31	0
議第 13 号	市道路線の認定について	原案可決	31	0
議第 14 号	修学旅行中の児童死亡事故に係る和解及び損害賠償額の決定について	原案可決	31	0
議第 15 号	平成29年度(2017)出雲市一般会計第 2 回補正予算	原案可決	31	0
議第 16 号	出雲市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決	31	0
意見書第 1 号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決	31	0
意見書第 2 号	森林環境税(仮称)の早期創設と地方が行う森林整備対策の長期的・安定的な財源確保を求める意見書	原案可決	30	1
請願第 1 号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願	採 択	31	0
請願第 2 号	北朝鮮問題をめぐる国際的緊張の高まりを平和的に解決することを求める請願	※不採択	26	5
請願第 3 号	森林環境税(仮称)の早期創設の実現についての請願	採 択	30	1

※請願第 2 号の「賛成・反対」は、同請願を「不採択」とした総務委員会の報告に対する賛成・反対を表しています。

